

令和5年2月8日

「SCB ふるさと応援団」館林市への寄附金贈呈について

館林信用金庫(理事長 早川 茂)は、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が実施する、企業版ふるさと納税制度を活用した地域創生スキーム「SCB ふるさと応援団」に、館林市の「日本遺産「里沼」感動体験創出プロジェクト」を推薦いたしました。審査の結果、寄付対象事業として選定され、本日、館林市役所にて館林市、信金中央金庫および館林信用金庫の三者による寄附金贈呈式が執り行われましたので、お知らせいたします。

当金庫は、今後とも地域金融機関として、地方公共団体との連携を強化し、地域創生に向けた取り組みを深化させ、地域経済の発展に努めてまいります。



写真左から、早川理事長（当金庫）、田中常務理事（信金中央金庫）、多田市長（館林市）

1. 「SCB ふるさと応援団」の概要

信金中央金庫が創立 70 周年事業の一環として実施する、企業版ふるさと納税制度の仕組みを活用した寄附金事業です。地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫と共に応援し、もって地域社会の発展に貢献することを目的としています。

2. 採択事業

- (1)事業名 日本遺産「里沼」感動体験創出プロジェクト
- (2)事業概要 令和元年度に文化庁が認定した日本遺産「里沼」を基軸として、新たな感動体験(商品やサービス)を開発することにより着地型観光振興を図り、シビックプライド醸成や地域活性化による将来的な交流人口・定住人口増加と持続的なまちづくりに取り組む事業です。

3. 寄附金金額

1,000 万円